

## 第5 城川地域

### 1. 地域の現況

城川地域は、市の南東部に位置します。地域内を縦断するように国道 197 号が、地域内を横断するように主要地方道城川櫛原線、野村城川線が走り、周辺他地域・他市と接続しています。

城川地域に都市計画区域の指定はありません。

城川地域の西部に位置し、野村地域と接する魚成地区は、城川地域の生活を支える拠点として、公共公益機能や生活を支えるサービス機能が一定立地しています。

城川地域は、肱川及びその支流に沿って集落が展開し、集落の背後は急傾斜地となる典型的な中山間地域です。肱川支流の田穂川に沿って集落が展開している田穂地区堂の坂では、「日本の棚田 100 選」に選ばれた美しい棚田が広がっています。



■位置図



■堂の坂の棚田



■穴神鍾乳洞



■城川町 歴史民俗資料館



■ギャラリーしろかわ

## 【城川地域 地域別構想 骨子案】

地域の主な施設や地域資源等		
道路	一般国道	国道 197 号
	主要地方道 ・一般県道	城川櫓原線、野村城川線、大茅辰ノ口線、日向谷高野子線、土居魚成線、
主要な施設		城川支所、遊子川出張診療所、土居診療所、魚成保育所、土居保育所（H30 年度 統合予定）、道の駅きなはいや、A コープ魚成、城川歴史民俗資料館、ギャラリーしろかわ、 <u>クアテルメ宝泉坊</u> 、城川文書館、城川どろんこ祭り保存館 等
地域資源		田穂の棚田、奇岩百景・岩上田、穴神鍾乳洞、 <u>龍沢寺</u> 、 <u>茶堂</u> 等
都市計画		—

## 2. 地域の課題

- ・市全体と同様に、城川地域でも高齢化・人口減少傾向が続いています。
- ・空き家・空き地が増加傾向であり、また、商業施設の撤退による空き店舗の発生もみられます。空き家・空き地・空き店舗の発生抑制、活用が必要です。
- ・耕作放棄地の増加や鳥獣被害の発生があり、これらの対策とともに、棚田の美しい景観を保全していくことが必要です。
- ・県道など主要な生活道路及び市道の整備が遅れ、災害時に孤立化する恐れのある集落があることから、この対策が必要です。また、身近な生活道路の維持・充実が必要です。
- ・国道・主要地方道を民営路線バス（宇和島自動車）が運行しています。また、中山間地域の集落をデマンド乗合タクシーが運行していますが、地域住民に利用方法が周知されていないこともあり、利用者数が少ない状況です。公共交通の利便性向上と合わせて、利用方法の周知・利用の促進を検討することが必要です。
- ・城川地域の山間・中山間地域には、山腹の急斜面に集落が位置しており、台風等による豪雨や地震時の土砂災害による被害が懸念されており、災害時の安全性確保が必要です。

### 3. 地域づくりの方針

地域づくりの方針では、城川地域の将来像とまちづくりの方針を示すとともに、『こうなったら良いな』『こうなりたい』と思う「城川地域の暮らし」の姿を展望します。

将来像	<p style="text-align: center;"><b>『芸術と健康のまち』</b></p> <p>■温泉や芸術が楽しめるまち ■気軽に自然を散策できるまち</p>	
まちづくりの方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城川支所周辺は、城川地域の拠点として、生活利便施設、行政、文化施設等の維持を図ります。</li> <li>・小さな拠点（魚成、土居、高川）は、日常生活に必要な機能の維持・確保を図るとともに、野村生活拠点への交通ネットワークを維持・充実します。</li> <li>・優良農地や酪農環境の保全に努め、田園景観を維持します。</li> <li>・三滝溪谷、穴神鍾乳洞等、四国西予ジオパークの自然環境を保全します。</li> </ul>	
城川地域の暮らし (展望)	観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高川地区を中心としたフットパスを活用したウォーキングが、地域住民と観光客が一緒に楽しむ観光イベントとして定着し、フットパス観光客を対象とした店舗や休憩施設が立地している。</li> <li>・クアテルメ宝泉坊と宝泉坊ロッジには、市内の各地から多くの人々が訪れ、近年は外国人の観光客も多く、宿泊施設も賑わっている。</li> </ul>
	買い物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小さな拠点に日用品の販売を行う商店があり、毎日の買い物には困らない。</li> <li>・以前は大洲市へ行っていた週1回程度の大きな買い物には、宇和地域に整備されているショッピングセンターへ家族で訪れ、買い物を楽しんでいる。</li> </ul>
	文化・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャラリーしろかわを拠点として、全国からアーティストが移住しており、活気が戻ってきた。</li> <li>・年に1～2回程度、西予市文化会館で行われるコンサートを鑑賞している。</li> </ul>
	働く場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代々受け継がれている農林業は、環境整備や後継者育成体制が整備され、国内外を問わずあらゆる地域から若者が担い手として集まってきている。</li> <li>・ハムやソーセージの畜産加工品のブランド化が成功し、全国各地へ販売するため、多くの従業員を雇用している。</li> </ul>
	医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野村地域の野村病院までは、地域で支えるバスが各地区を結び、お年寄りも気軽に通院出来るようになっている。</li> </ul>

## 4. 部門別まちづくりの方針

全体構想の「部門別・まちづくりの方針」の体系に基づき、各地域で具体的に実施する都市計画・まちづくりの施策を位置付けます。

### 1) 土地利用

#### (1) 集落・農地ゾーンの整備方針

##### ①魚成地区の整備

- ・魚成地区の城川小・中学校周辺及び城川支所周辺は、城川地域の中心となる拠点として、公共公益機能や生活を支えるサービス機能等の維持・充実を図ります。
- ・城川支所周辺に立地する「ギャラリーしろかわ」や「城川歴史民俗資料館」、新たに整備する「四国西予ジオミュージアム」などを活かし、本市の歴史・文化・芸術の拠点としても充実を図ります。

##### ②集落環境の整備

- ・城川地域の谷筋には、農地と一体となって農村集落が形成されています。田園的な環境の保全を基本として、生活道路や公園広場の維持・管理、小型合併処理浄化槽の設置促進等により、居住環境の整備を推進します。
- ・城川地域の山間・中山間地域には、山腹の急斜面に集落が位置しており、集落の安全性を確保するため、土砂災害対策事業の継続、防災訓練の支援、総合防災マップの配布等による災害情報の周知等に取り組みます。
- ・災害の発生時に備えて、他地域や近隣他市町と連携した広域的な避難の受入れや応援について検討します。

##### ③小さな拠点の整備

- ・公民館（集会所）や旧小学校等を核に、旧小学校エリアに設置する地域づくり組織が主体となって行う小さな拠点づくりを支援し、市民と協働で必要となる生活サービス機能の維持・確保について検討します。
- ・城川地区の小学校再編に伴う、学校施設の充実に努めるとともに、廃校となった学校跡地の利活用を検討し、地域の活力向上につなげていきます。
- ・小規模多機能自治活動拠点として、小さな拠点における、自治センターの整備を検討します。
- ・手上げ型交付金制度を活用し、小さな拠点等において、市民が主体となった地域づくりを支援します。

#### (2) 森林・河川・湖沼ゾーンの整備方針

- ・森林や河川、湖沼など、城川地域の豊かな自然の適切な保全と活用を図ります。

## 2) 都市施設

### (1) 道路・交通ネットワークの整備方針

#### ①道路の整備

##### ア) 広域連携軸の整備

- ・一般国道は、本市の広域連携軸を構成しており、国や県と連携しながら、市内外さらには県外との連携強化に向けて整備を促進します。

##### イ) 拠点連携軸の整備

- ・拠点間を結ぶ主要地方道は、本市の拠点間連携軸を構成しており、**県と連携して整備・機能維持を図ります。**
- ・主要地方道野村城川線については一部線形不良箇所が見られることから、改良を検討します。

##### ウ) 地域間連携軸の整備

- ・一般県道は、本市の地域連携軸を構成しています。**大規模林道に繋がる主要な県道（城川橋原線及び日向谷高野子線）について、県と連携した整備の促進と機能維持を図り、集落まで大型車が通行可能となる道路の概成に努めます。**
- ・災害時等における集落の孤立化を防ぐため、崩壊危険個所の局部改良を検討します。

##### エ) 生活道路の整備

- ・主要な市道など地区の幹線道路の適切な維持管理を図ります。
- ・**災害時等における集落の孤立化を防ぐため、崩壊危険個所の局部改良を検討します。**
- ・市民のニーズや財政状況を見極めつつ、優先的に維持・管理する路線や整備する路線を定め、維持・管理及び整備を推進することにより、日常生活の利便性の向上に努めます。

##### オ) 歩道の確保

- ・歩行者の安全な通行を確保するため、主要な道路において歩道を整備中であり、引き続き歩道の整備を推進します。
- ・**地域住民**が主体となり、誰もが楽しみを持って歩くことができるフットパスの整備を進めます。

#### ②公共交通網の構築

- ・新たに策定した「西予市地域公共交通網形成計画」に基づき、市内のすべての集落からの日常的な「おでかけ」を確保するための公共交通を確保します。
- ・公共交通を地域・利用者・市民で支える意識を醸成し、公共交通の利用を促進します。
- ・主要な交通結節点での乗り継ぎの円滑化、**市のデマンド乗合タクシーの改善及び利用方法の周知・利用促進**、スクールバスの活用など、公共交通のさらなる改善・利便性の向上に向けて、市民とともに検討を行います。

### (2) 公園・緑地の整備方針

- ・既存の公園・広場を活用しながら、身近に利用できる公園・広場を確保します。



### (3) 下水道・河川の整備方針

#### ①下水道の整備

- ・集落において、住環境の改善と公共用水域の保全を図るため、小型合併処理浄化槽の設置促進等に努めます。

#### ②河川の整備

- ・肱川は、臨海部を除く本市の大半の地域を流域としており、城川地域においても肱川の支流が流れています。
- ・城川地域において、肱川支流の河川環境の保全に努めるとともに、水辺を活かした憩いの場や親水空間の確保を検討します。

## 3) 自然・景観

### (1) 自然の保全・整備の方針

#### ①水辺の保全・整備

- ・城川地域の水辺環境としては、肱川の支流が地域を流れるとともに、農業用ため池が分布します。水辺環境の保全整備を図るとともに、河川沿いの親水空間の整備について検討を行います。
- ・**県営**治山事業の推進、小型合併処理浄化槽の設置促進等により、河川の水源涵養機能の増進と河川環境の維持・保全に努めます。
- ・老朽ため池の整備、**管理者不在で防災上問題のある農業用**ため池の廃止に取り組みます。

#### ②農地の保全・整備

- ・城川地域の谷筋においては、**農村集落と一体的に形成された整備済みの優良農地が展開しており、農地の保全と農村環境の調和、農道や水路の整備や維持管理に取り組みます。**
- ・農地の多面的機能の維持・発揮に向けて、営農活動の支援や地域活動の支援に取り組みます。
- ・農村集落における優良農地を適切に維持・保全するとともに、担い手による農地整備を促進します。
- ・市民と協働し、農業の担い手や経営体の育成と経営規模の拡大支援、集落営農の促進、農地流動化対策等に取り組みます。

#### ③森林の保全・整備

- ・森林は、保全・育成を図ることを基本とし、住宅開発や工場立地等の開発抑制を図ります。
- ・森林の多面的機能の維持・発揮に向けて、担い手の育成に取り組むとともに、環境教育やレクリエーションの場として、森林の活用に努めます。
- ・集落の背後に位置する里山の保全・育成を図るものとし、間伐等の適切な管理に努めます。

#### ④自然の活用

- ・温泉施設、**四国西予**ジオパークの「**サイト**」等、観光資源と一体となって自然資源の活用を図ります。
- ・**地域住民と連携しながら、ジオサイトを活用したフットパスコースを整備し、自然資源の活用やジオパークの新たな楽しみ方の提供を図ります。**

### (2) 景観の保全・整備の方針

#### ①自然景観の保全・整備

- ・森林、河川・水面、田園等は、本市の景観の骨格となることから、「四国西予ジオパーク」の取組や市民と協働した活動により、適切に保全・整備を図ります。
- ・かねてから城川地域が標榜してきた「**わがむらは美しく**」をキャッチフレーズに、**景観保全活動に取り組みます。**
- ・田穂地区における**豊かな緑に囲まれた谷間の棚田と、営農を継続する集落とを一体的に保全するため**、「城川町田穂地区景観計画」に基づく建築物・工作物の規制・誘導、開発の抑制により、市民と協働しながら、**景観づくりを進めます。**
- ・農山村集落においては、集落内の宅地と周辺の農地を山地が取り囲み、良好な景観が形成されています。これらの景観を市民と協働して保全するとともに、景観に調和した居住環境の整備を推進します。
- ・地域ならではの景観の形成に向けて、**四国西予**ジオパークの「**サイト**」等、周辺の景観保全について検討を行います。

## 4) 防災・減災

#### ①防災・減災体制の確立

- ・自然災害の防止については、防災施設の整備と災害時における避難体制の確立が重要であり、避難路・避難場所等の整備を図るとともに、自主防災組織の活動を支援します。
- ・**防災行政無線のデジタル化に取り組みます。**
- ・**市民に対する防災意識の啓発、防災訓練の充実化など、市民と連携し、防災・減災対策に努めます。**
- ・総合防災マップの周知による防災意識の啓発、防災訓練の充実化など、**地域づくり組織**と連携し、防災・減災対策に努めます。
- ・災害の発生時に備えて、他地域や近隣市町と連携した広域的な避難の受入れや応援について検討します。

#### ②土砂災害の防止

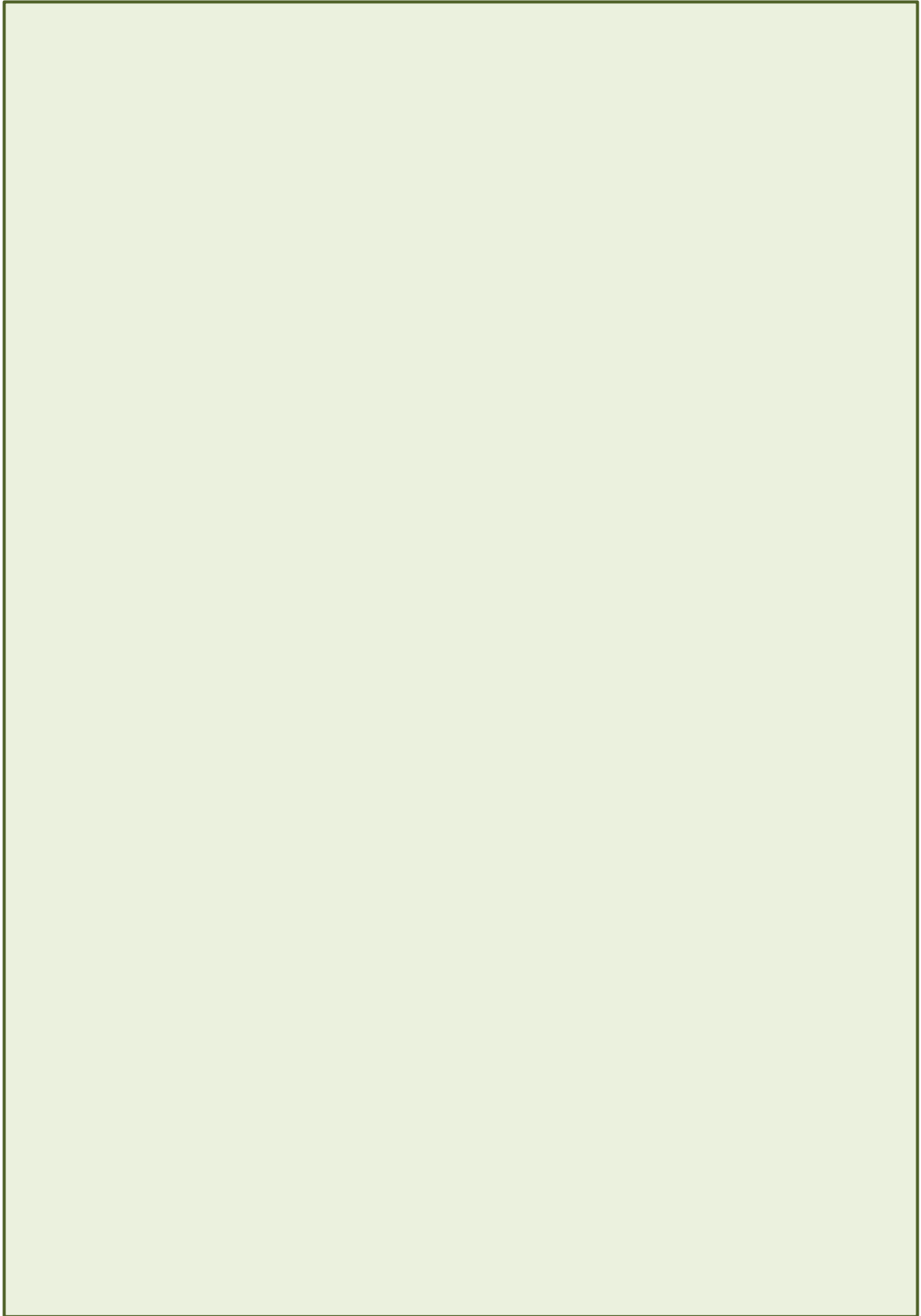
- ・土砂災害警戒区域・特別警戒区域や急傾斜地崩壊危険区域など、土砂災害が懸念される区域等については、開発の抑制とともに、必要な土砂災害防止施設の整備を推進します。

## 【城川地域 地域別構想 骨子案】

赤字：各課・支所の意見による修正  
青字：市民の意見による修正  
緑字：事務局による修正

- ・森林整備事業等を用いて、土砂災害の要因となっている放置林を保全します。
- ・土砂災害が懸念される地区については、国道や県道、主要な市道等を、避難路を兼ねた道路として整備・維持管理を行うことにより、集落の孤立化を防ぐように努めます。





■城川地域 整備方針図